



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校 「お肉の日」の交流給食を実施しました

生徒の思い出に残るような食事を演出したいと、新村畜産さんから「お肉の日」の前日の2月8日に、黒毛和牛サーロイン肉を無償提供していただきました。当日は、給食の時間に、牛肉の贈呈式を行い、引き続き、交流給食を実施しました。

牛肉の目録を受領した中学校生徒会長の小脇君が「地域の皆様に支えられていることに感謝します」と感謝の言葉を述べ、「こんなに大きなステーキを給食で食べられるなんて、僕たちは幸せ」と、司会進行役の中学3年生、福山君の挨拶で会食がスタートしました。

「子どもたちがもりもりと食べる様子を見ていた

い。こんな姿を見ること
ができてとてもうれしい」
と、新村順一郎社長は、お
いしそうに肉をほおぼり、
ステーキを堪能する生徒
たちの様子をしばらく参
観されていました。会食
後、高校生徒会長の日高
君が「今後とも、僕たち楠
隼生を見守ってください」
とお礼の言葉を述べて交
流給食は終了しました。食
べ物や関係者の皆さんへ
の感謝を忘れず、今後の
学校生活や寮生活を充実
させてほしいと思います。



高校 「第3回トップリーダー教室」が開催されました!

3月9日に「第3回トップリーダー教室」にNPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事の東川隆太氏を講師にお招きし、『鹿児島が教えてくれること〜地域から学ぶには〜』という演題でご講演を頂きました。

東川氏自身が高校時代に大河ドラマ「翔ぶが如く」を観て、鹿児島の歴史に興味を持ち、いつか大河ドラマに関する仕事がしたいという思いが、今回の「西郷どん」で叶ったというエピソードや大河ドラマの方言指導を通して俳優・女優さん達のお人柄のこと等を軽快なトークで話され、中でも西郷隆盛・島津斉彬・大久保利通といった鹿児島の人達のお話では、教科書に載っていないことや、我々が思っている人物イメージと違う部分を窺い知ることができ、生徒達は興味津々で拝聴していました。

また、鹿児島島の伝統教育である「郷中教育」の話では、先輩が後輩の指導に当たる「郷中教育」と楠隼中高での寮生活とを重ね合わせて、今後の生活の活力を得たことでしよう。最後に東川氏は「鹿

児島の偉人達も一人で偉業を成し遂げたのではなく、人との関わりの中で成し遂げられたものである。皆さんも、人との関わりを大切にして欲しい。」と楠隼生にメッセージをくださいました。

生徒達は鹿児島島の偉人達の生き方を学ぶことで、今後の生き方やあり方を考える機会となりました。

